



<http://www.fancs.com>

第 8 期 事業報告書  
2006.1.1 ▶▶ 2006.12.31

◆ 私たちは信念をもってアフィリエイトサービスの拡大に挑戦します。



株主の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、インターネット上で集客を行う広告主と、その広告を掲載するブログ（日記形式のWebサイト）やホームページを運営するアフィリエイトサイト会員を結びつけるアフィリエイト広告サービスの運営代行を主力事業としております。当事業年度も多くの広告主とアフィリエイト会員に支持いただき、その規模は順調に拡大しております。

当社の第8期に当たる2006年12月期は、売上高は前期比25.7%増の5,367百万円、経常利益は前期比29.9%増の994百万円、当期純利益は前期比31.0%増の589百万円と増収増益を達成することが出来ました。しかしながら、売上高は当初見通しよりも伸び悩み、必ずしも満足のいく結果ではございませんでした。計画どおりにいかなかった要因は、外部環境として、パソコンからのインターネット利用が予想より伸びなかったこと、一部業態の広告予算削減の影響があったこと、ここ数年「アフィリエイト」「ブログ」などブーム的に広がってきた流れが一服しその反動があったことなどが上げられます。

そのような厳しい環境の中で苦しんだことで、当事業年度は逆に当社の強みや弱みを再発見でき、事業ドメインとする「アフィリエイト」の将来性について再認識できた年度でもありました。そして下期からはこの弱点を改善するため、そして本年からは強みをさらに発揮するためのサービス改革に取り組んでいます。

最近「ネット広告は成長に陰りが見えてきたのではないか」との指摘を受けますが、現時点は消費者がようやくネットの利便性に気づき消費情報を得る場所として活用し始めたばかりであると考えております。ネット広告を従来のマス広告ではなく「企業と消費者の新しい出会いの場」と捉えると、その可能性は計り知れないほど広がります。私たちが取り組む「アフィリエイト」は数少ないビジネスエンジンとして益々その重要性が増していきと考えております。

これからも株主の皆様のご期待を裏切らぬよう、本質的な企業価値を高める挑戦を続けて参りますので、引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。

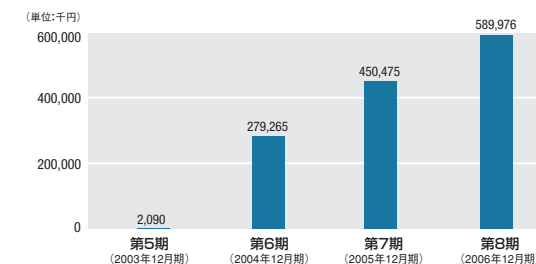
2007年3月

代表取締役社長 柳澤 安慶

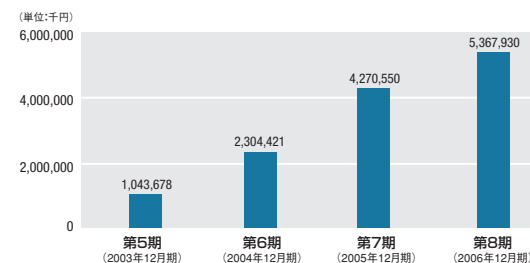
◆ 財務ハイライト

◆ 売上高 ..... 53億67百万円  
 ◆ 経常利益 ..... 9億94百万円  
 ◆ 当期純利益 ..... 5億89百万円

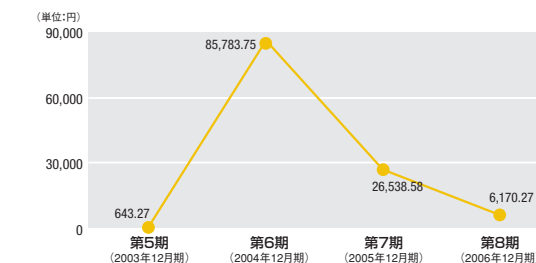
■ 当期純利益



■ 売上高

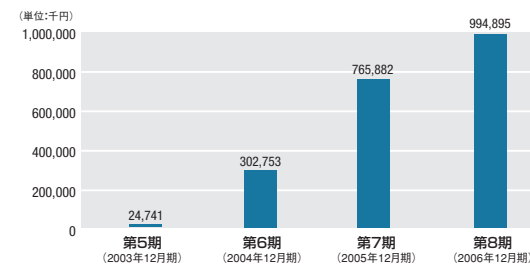


■ 1株当たり当期純利益(注)

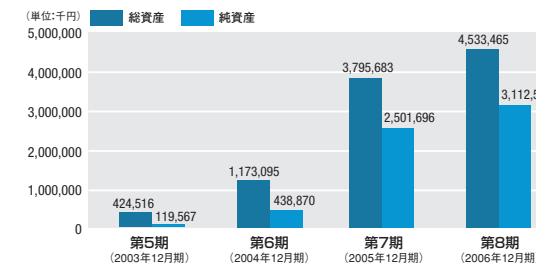


(注) 当社は、2005年3月9日付をもって株式1株につき4株、2006年3月1日付をもって株式1株につき5株の分割を行っております。

■ 経常利益



■ 総資産/純資産

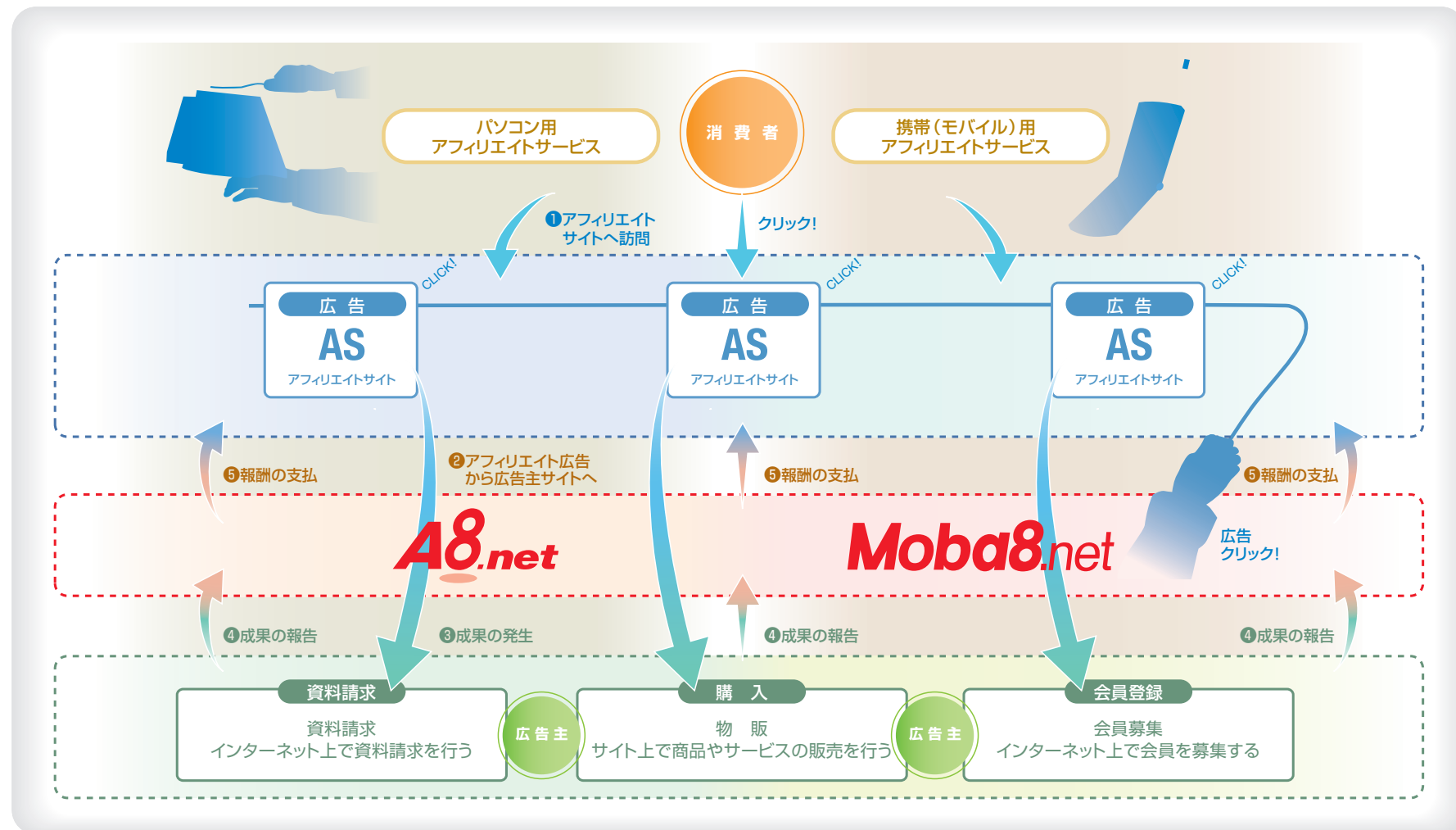
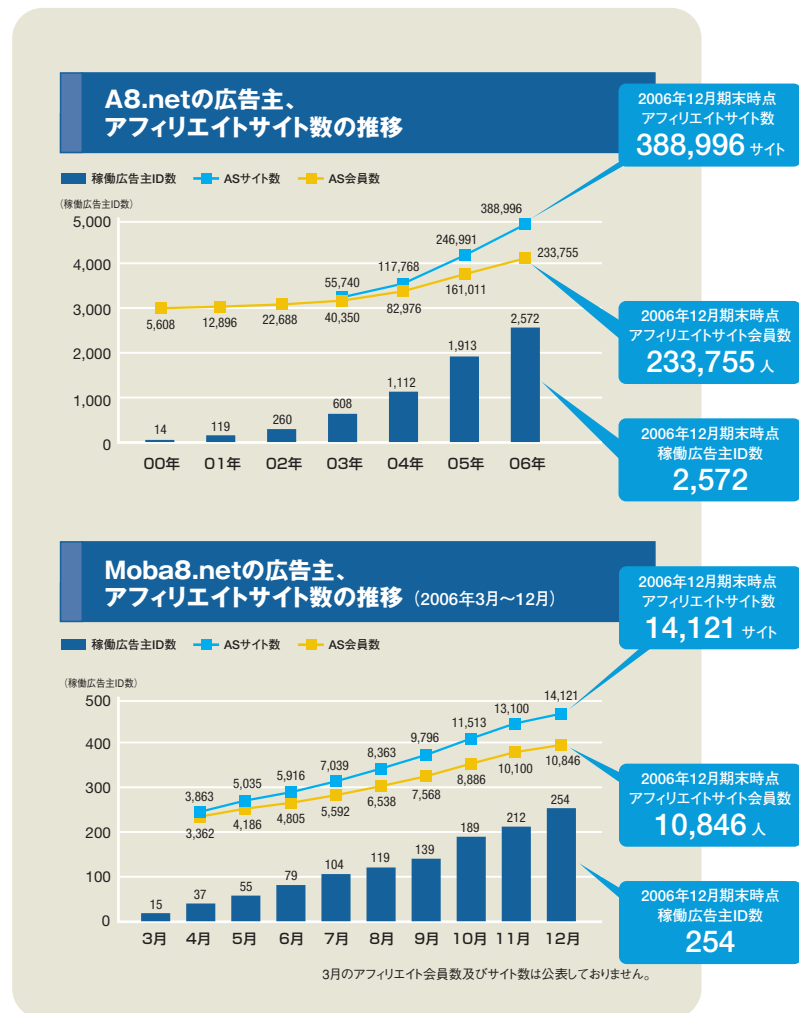


## 広がるアフィリエイト広告

当社の主力事業であるアフィリエイト広告サービスは、ADSLなどブロードバンド環境の整備や、個人のブログ（日記形式のWebサイト）やSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）などの消費者型Webサイトの普及により、その市場は年々拡大しております。当社では、パソコン向けのアフィリエイト広告サービス「A8.net（エーハチネット）」に加え、携帯利用者の急増に伴い、携帯向け同サービス「Moba8.net（モバハチネット）」の運営を開始いたしました。

当社は、自社のアフィリエイトシステムを使用して複数の広告主と、複数のアフィリエイトサイトを仲介するアフィリエイト広告サービスを展開しております。

当サービスは、広告主がまず購買や資料請求などの成果報酬内容をアフィリエイトサイト会員に提示し、広告掲載を希望する会員の中から掲載先を選定します。消費者が、掲載先の広告を経由して、広告主サイトを訪問し、かつ予め設定した成果に結びついた場合に成果報酬が発生します。「A8.net」「Moba8.net」は両者をサポートする役割を担い、広告主に対し、サービス利用に関する基本利用料、成果報酬、当社手数料等を請求します。また、アフィリエイトサイトが獲得した成果報酬を集計し、支払を行います。



## ◆ 今期の課題と取り組み

当社が運営するパソコン向けアフィリエイト広告サービス「A8.net」は登録アフィリエイトサイト数約39万サイト(2006年12月末現在)、累計利用広告主数約5,200社(同)と国内最大級のサービスに育っております。また、2006年3月よりスタートした携帯向けアフィリエイト広告サービス「Moba8.net」も順調に拡大しております。2007年12月期はこれら主力サービスの規模拡大と共に品質面での見直しを図り、またシナジー効果の高い周辺サービス開発を進めたいと考えております。

# Challenges of this term

### ◆ A8.netとMoba8.netの規模拡大

アフィリエイト広告サービス成長の最大要因は、アフィリエイトサイト数と広告主数のバランスのよい拡大と認識しております。その対策として、サイト運営者に「A8.net」「Moba8.net」の収益力をアピールし、会員増加を進めてまいります。広告主獲得に関しては、効果的なアフィリエイト広告の提案が可能な営業体制を整備し、セミナーやWebコンテンツを通じて利便性をアピールしたいと考えております。また、外部事業者とのアライアンスも積極的に活用し、サービス規模拡大に努めてまいります。

### ◆ A8.netとMoba8.netのサービス品質の向上

アフィリエイト広告サービス利用者拡大の中、見落とされがちなサービス品質の認識と改善というテーマに取り組んでおります。具体的には、広告主への提案内容が、各業種・業態に最適かどうかを再度見直し、アフィリエイトサイトが活動しやすい企画への誘導を心がけております。また、アフィリエイトサイトが最適な広告を簡単に検索できるようサービスシステムの画面や機能改善を進めております。

### ◆ 自社媒体事業への取り組み

現在、パソコンと携帯向けを含め、約20近くの自社媒体(Webサイト)を運営し、アフィリエイト広告や通常のインターネット広告の掲載により収益を得ております。更なる事業拡大に取り組むため、今期以降、比較的競合が少なく今後の市場成長が期待できるモバイル媒体分野に集中的に取り組む方針です。具体的には、2006年末よりテスト運用しております携帯向け検索サイト「アウケン」(<http://auken.jp>)を中核に、携帯利用者に支持されるサービスを展開してまいります。



### ◆ 周辺サービスによる付加価値向上

2006年12月期から「A8.net」および「Moba8.net」の収益力をさらに強化するための付加サービスの提供に取り組んでおります。アフィリエイトサイト向けには簡易オンラインショップ作成サービス(「ドロップシッピング」)やアフィリエイトサイト自身が購入した場合にキャッシュバック特典がつく「A8モール」運営などを開始いたしました。また、広告主向けには、特定商品等のプロモーション記事をブログ(日記形式のホームページ)に掲載し、オンライン上の口コミ効果を高める「A8Buzz」やより簡単にアフィリエイト広告掲載先を拡大できる商品DBサービスを開始しています。2007年12月期はこれら付加サービスを定着させ、また各サービス共通で利用できるポイント管理機能の投入などで、ユーザーの活性化を進めたいと考えております。



損益計算書

(単位:千円)

科目	第7期 2005年1月1日から 2005年12月31日まで	第8期 2006年1月1日から 2006年12月31日まで
売上高	4,270,550	5,367,930
売上原価	2,761,579	3,283,190
売上総利益	1,508,971	2,084,740
販売費及び一般管理費	707,196	1,103,817
営業利益	801,775	980,922
営業外収益	1,323	22,743
営業外費用	37,216	8,770
経常利益	765,882	994,895
特別損失	4,154	5,292
税引前当期純利益	761,727	989,603
法人税、住民税及び事業税	341,040	397,251
法人税等調整額	△ 29,787	2,375
当期純利益	450,475	589,976
前期繰越利益	30,533	—
当期末処分利益	481,009	—

売上高

主力サービス「アフィリエイト広告サービス」の稼働広告主ID数およびパートナーサイト数が順調に伸び、当期売上高は5,367,930千円(前期比25.7%増)となりました。

営業利益

事業規模拡大に伴う人員増および販売促進活動の強化により販売費及び一般管理費が56.1%増加し、売上高営業利益率は18.3%、当期営業利益は980,922千円(前期比22.3%増)となりました。

経常利益

営業利益率が前期比0.5ポイント減少しましたが、有価証券利息6,316千円および投資有価証券売却益13,460千円の計上により、経常利益は994,895千円(前期比29.9%増)となりました。売上高経常利益率は前期比0.6ポイント改善し、18.5%となりました。

当期純利益

当期純利益は589,976千円(前期比31.0%増)となり、売上高当期純利益率が11.0%と前期比0.5ポイント改善しました。1株当たり当期純利益は、前期の26,538円58銭から当期は6,170円27銭となりました。なお、2006年3月1日付にて所有株式数を1株につき5株の割合をもって株式分割を行ったため、当該株式分割が前期期首に行われたと仮定した場合の数値は5,307円72銭となります。

配当について

当社は株主に対する利益還元を重要課題の一つと認識しております。主力事業であるアフィリエイト広告サービスが順調に拡大し、収益基盤も整備されつつあると判断し、純利益の20%程度を中期的な目標配当性向として、年1回の期末配当を行うことを基本方針と定めております。  
2006年12月期の期末配当につきましては、上記方針に基づき、1株当たり1,200円となりました。

貸借対照表

(単位:千円)

科目	第7期 2005年12月31日現在	第8期 2006年12月31日現在
資産の部		
流動資産	3,514,845	3,709,655
固定資産	280,837	823,810
資産合計	3,795,683	4,533,465
負債の部		
流動負債	1,251,720	1,385,594
固定負債	42,266	35,316
負債合計	1,293,987	1,420,910
資本の部		
資本金	883,300	—
資本剰余金	1,135,250	—
利益剰余金	481,009	—
その他有価証券評価差額金	2,137	—
資本合計	2,501,696	—
負債資本合計	3,795,683	—
純資産の部		
株主資本	—	3,113,535
評価・換算差額等	—	△980
純資産合計	—	3,112,555
負債純資産合計	—	4,533,465

流動資産

当期末の流動資産残高は3,709,655千円となり、前期比194,809千円の増加となりました。主な要因は、有価証券が875,466千円、充当証券が700,000千円、売掛金が94,839千円増加したことによります。有価証券および充当証券の増加は余剰資金の運用によるものであります。

固定資産

当期末の固定資産残高は、前期比542,972千円増加し823,810千円となりました。主な要因は、投資有価証券が432,852千円、工具器具備品が44,475千円、敷金および保証金が30,013千円増加したことによります。投資有価証券の増加は公社債等の購入、工具器具備品はサーバー等の増強、敷金および保証金は人員増に伴う事務所借増しによるものであります。

流動負債

当期末の流動負債残高は、前期比133,873千円増加し1,385,594千円となりました。主な要因は、買掛金が123,757千円、未払金が47,363千円、前受金が39,776千円増加したことによります。

固定負債

預り保証金が前期比6,950千円減少したため、当期末の固定負債残高は、前期比6,950千円減少の35,316千円となりました。

純資産

2006年4月12日のストックオプション行使に伴う資本金および資本準備金の計24,000千円の増加と当期純利益589,976千円の計上により、当期末の純資産残高は前期比610,858千円増加の3,112,555千円となりました。

キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科目	第7期 2005年1月1日から 2005年12月31日まで	第8期 2006年1月1日から 2006年12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	924,192	618,660
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 201,588	△ 2,049,222
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,605,925	24,863
現金及び現金同等物の増減額	2,328,528	△ 1,405,698
現金及び現金同等物の期首残高	666,727	2,995,255
現金及び現金同等物の期末残高	2,995,255	1,589,557

**会社概要**

(2006年12月31日現在)

商号	株式会社ファンコミュニケーションズ
本社所在地	〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-1-8 青山ダイヤモンドビル8階
設立	1999年10月1日
資本金	8億9,530万円
従業員数	103名(パートタイマー除く)
会計監査人	あずさ監査法人

**役員**

(2007年3月29日現在)

代表取締役社長	柳澤 安慶 (やなぎさわ やすよし)
取締役副社長	松本 洋志 (まつもと ひろし)
取締役	内田 徹 (うちだ とおる)
取締役	佐藤 吉勝 (さとう よしかつ)
取締役	広瀬 計 (ひろせ けい)
取締役	堂下 裕章 (どうした ひろあき)
常勤監査役	柳澤 信美 (やなぎさわ のぶよし)
監査役	柿本 謙二 (かきもと けんじ)
監査役	出澤 秀二 (いでさわ しゅうじ)

**主な1年間の取り組み**

**2006**

- 1月 第7期決算発表
- 2月 携帯向けアフィリエイトサービス「Moba8.net」サイトオープン
- 3月
- 4月 アフィリエイトサービス「A8.net」のパートナーサイト数30万を突破
- 5月 アフィリエイトサービス「A8.net」の累計広告主数4,000社を突破
- 6月
- 7月 モバイルプラットフォーム開発の株式会社エンターモーションへの出資
- 8月 ドロップショッピングサービス「A8ドロップス」を開始  
同サービスを展開する株式会社リアルコミュニケーションズへ出資
- 9月
- 10月 商品DB(データベース)の開始
- 11月 アフィリエイトプログラムに関連するタグによる成果補足のビジネスモデル特許を取得
- 12月 モバイル向けブログサービス「ファンモグ」の開始

**2007**

**当社ホームページもご覧下さい**



当社ホームページでは、株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとして、当社の事業活動や動向を紹介しております。当社をよりご理解いただくためにも、ぜひアクセスしてください。

<http://www.fancs.com>

(2006年12月31日現在)

**株式の状況**

発行可能株式総数	300,000株
発行済み株式総数	96,280株
株主数	5,484名

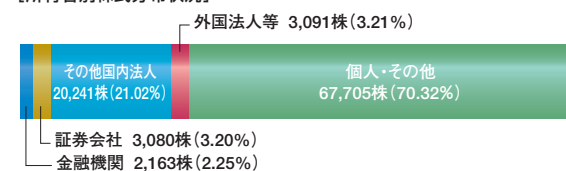
**大株主 (上位10名)**

株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
柳澤 安慶	28,540	29.64
(株)インプレスホールディングス	6,175	6.41
楽天(株)	5,779	6.00
アール・シー・ワイ・ブラザーズ(株)	5,570	5.79
張 力牧	3,026	3.14
松本 洋志	2,790	2.90
小林 直行	2,410	2.50
内田 徹	1,990	2.07
杉山 紳一郎	1,680	1.74
日本証券金融株式会社	1,579	1.64

※議決権比率は小数点第3位を四捨五入

**株式の分布**

[所有者別株式分布状況]



**株主メモ**

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月に開催
剰余金の配当の基準日	1. 期末配当 12月31日 2. 中間配当 中間配当を実施するときは6月30日
単元株式数	1株
基準日	1. 定時株主総会については12月31日 2. その他必要がある場合は、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番4号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部 (住所変更等用紙のご請求)
お問合せ先	☎ 0120-175-417 (その他のご照会) ☎ 0120-176-417
インターネットホームページURL	<a href="http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html">http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html</a>
同取次所	住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店
上場証券取引所	JASDAQ証券取引所

**■公告方法**

電子公告の方法により行います。ただし、やむをえない事由により電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載します。公告掲載URL (<http://www.fancs.com>)

**本報告書に関するお問合せ先**

株式会社ファンコミュニケーションズ 管理部 IR担当  
TEL:03-5766-3792 FAX:03-5766-3782